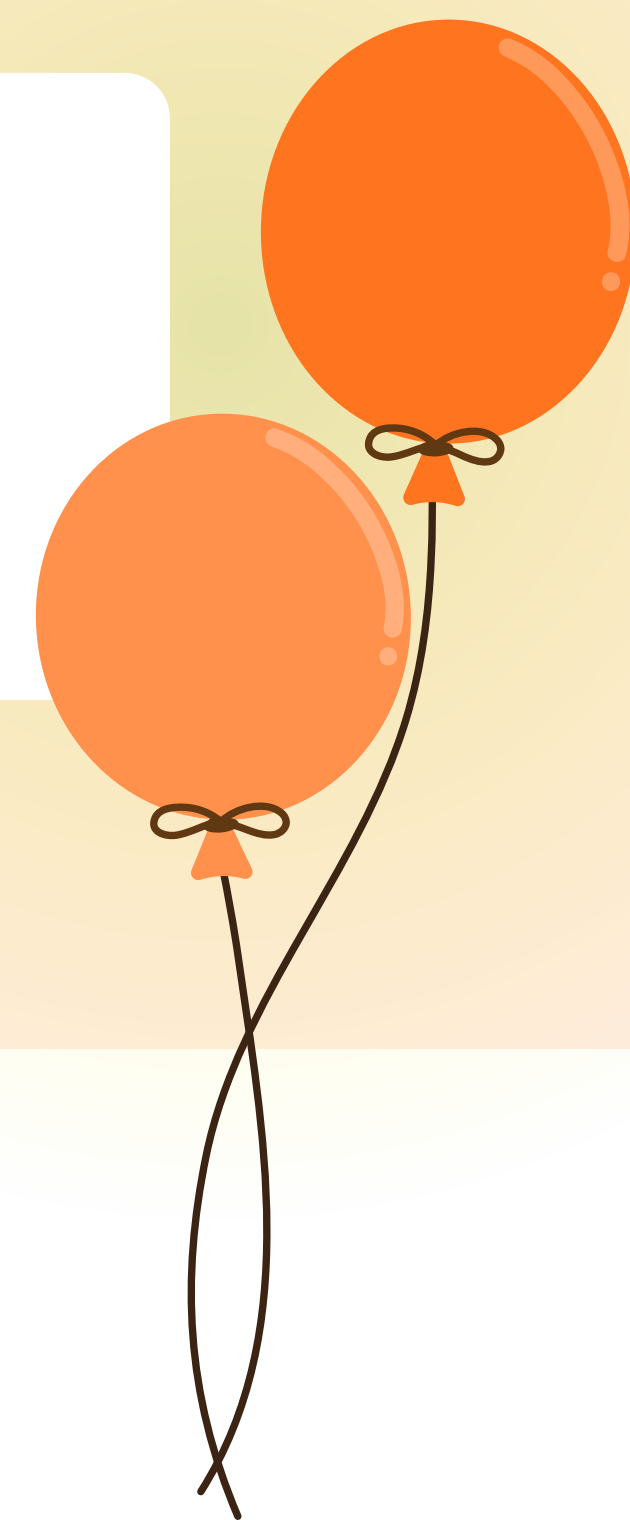


ホスピス緩和ケア週間

in TOKUSHIMA 2026



パネル展挨拶

皆さま、ようこそ「ホスピス緩和ケア週間in TOKUSHIMA」
パネル展に参加下さいました。心より歓迎申し上げます。

2026年の「世界ホスピス緩和ケアデー」は10月10日(土)です。世界各地で様々なイベントが開かれます。徳島でも、私たちは2007年からパネル展・前夜祭・講演会を続けてまいりました。このパネル展は、県内の医療機関が緩和ケアの取り組みを紹介しています。パネルは参加団体ホームページからもご覧いただけます。

2026年のメインテーマ

Pain Management: An Essential Part of Palliative Care
(疼痛管理：疼痛管理は緩和ケアの不可欠な一部)

緩和ケアでの痛みはトータルペインと言われており、身体的・社会的・心理的・霊的痛みと言われています。この疼痛管理は緩和ケアでは大変重要です。

本日の展示をごらんになって、皆様にとって緩和ケアが身近なものであると感じていただければ幸いです。

私たちは「コンパショネイト・ホスピタル&シティ」を掲げて活動しています。コンパッション（Compassion）とは、苦しみや悲しみに寄り添い、和らげようとする思いやりの心と行動を意味します。

9月26日（土）ホスピスガーデンで開かれる前夜祭では、初出演の徳島ジュニアージャズ楽団の音楽などや阿波踊りが行われ、患者・家族・地域の皆さまといっしょに楽しいひと時を過ごします。これもコンパショネイト・ホスピタルの一つです。

「支える医療から支えあう地域づくりへ」という考えで、市民の皆さまと一緒に「コンパショネイト徳島」の理想に向けて活動します。



2026年9月26日
NPO法人ホスピス徳島がん基金
理事長 近藤 彰

共催：徳島大学病院、徳島県立中央病院、徳島市民病院、徳島赤十字病院、
徳島県立三好病院、かさまつ在宅クリニック、徳島往診クリニック、徳島市医師会
後援：徳島県医師会